

技術資料のダウンロード

1. はじめに

本資料は、防潮堤主閉鎖システムを主ターゲットとした、超大型振り構造ゲートの計画、設計、製作、現地工事、運用、維持管理等の参考となる技術資料の提供を目的とする。

2. 超大型振り構造ゲートのゲート方式

表 2.-1 はゲートの開閉方向と方式名を示す。

列番 : 開閉方向を示す。平行移動は流れ方向、これと直交する水平方向、これらと直交する垂直方向と分類され、回転運動は流れ方向軸周り、これと直交する水平軸周り、これらと直交する垂直軸周りに分類される。

列番 : 超大型振り構造ゲート実現の可能性を示す。行番 1 と 4 は実現が不可能である。行番 1 の流れ方向は扉体操作が困難であり、行番 4 の流れ軸周りは径間が数百メートルに及ぶことを考慮すると非現実的である。

列番 : 実現が可能な超大型振り構造ゲートの方式名を示す。フラップ式、ローリング式、スイング式、及び、エマージング式の 4 種である。

表 2.-1 ゲートの開閉方向と方式名

行 番	①ゲート開閉方向		②超大型振り構造ゲート		③ゲート方式名
	様態	方向	実現可能性	理由	
1	平行移動	流れ方向	×	操作困難	—
2		水平方向	○		ローリング式
3		垂直方向	○		エマージング式
4	回転運動	流れ軸	×	非現実的	—
5		水平軸	○		フラップ式
6		垂直軸	○		スイング式

3. 技術資料の題名

表 3.-1 は提供する技術資料のファイル名称と題名を示す。

1 列目 : ゲート方式を示す。表 2.-1 の列番 に示すフラップ、ローリング、スイング、及び、エマージングである。

2 列目 : 資料分類を示す。実績報告、技術提案、技術課題、特許性である。尚、振り構造に直接関わる技術課題は総てローリング式に含まれる。

3 列目 : ファイル名称を示す。資料のダウンロードはファイル名で行う。

4 列目 : 技術資料題名を示す。

超大型振り構造ゲートはフラップ式、ローリング式、スイング式、又は、エマーシング式で実現できるが、海底堆積物がこれ等に共通する課題である。しかしながらこれは既存技実で解決できる。

表 3-1 技術資料のファイル名称と題名

ゲート方式	資料分類	ファイル名称 ¹	技術資料題名
フラップ	実績報告	①フラップ式	ドック用トーションタイプフラップゲートの開発
ローリング	技術課題	②ローリング式	振り形式？セクター？（構造形式の評価）
		③学位論文抜粋	3.1 振り構造ゲートの構造解析（学位論文抜粋）
		④ダム工学論文	振り構造ゲートの解析方法（ダム工学投稿論文）
		⑤反り緩和	反りの緩和と最適設計
		⑥振りの優越性	振り構造の優越性（曲げ構造との比較）
	⑦ローラ乗り上げ	ローラの乗り上げ	
	特許性	⑧特許性ローリング	特許性に関する国際予備報告
スイング	技術提案	⑨スイング式	スイング式
	技術課題	⑩扉体傾斜	扉体の傾斜角度
		⑪扉体衝撃	扉体の衝撃力
	特許性	⑫特許性スイング	特許性に関する国際調査報告
エマーシング	技術提案	⑬エマーシング式	エマーシング式
	特許性	⑭特許性エマーシング	特許性に関する国際調査報告
備考：1. ファイル名称の番号はEnglish version と共通。			

4. 技術資料のダウンロード

下記ファイル名称をクリックすると Chrome 等のブラウザ画面上に技術資料がダウンロードされる。尚、ファイル名称番号は English version と共通である。又、 はこのページの内容である。

- フラップ式
- ローリング式
- 学位論文抜粋
- ダム工学論文
- 反り緩和
- 振りの優越性
- ローラ乗り上げ
- 特許性ローリング
- スイング式

扉体傾斜

扉体衝撃

特許性スイグ

エマーシング式

特許性マーシグ

技術資料